

平成22年度農産物地産地消等実態調査
農産加工場調査票

指標コード(この欄には農林水産省が記入します。)	
農産加工場コード	都道府県
	市区町村

この調査は、農林水産省が、統計法第19条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた一般統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計を作成するためのみに使用するもので、課税など統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

- 記入に当たっては、「調査票の記入の仕方」を参考にしてください。
- 平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の1年間（記入が困難な場合は記入可能な直近1年間）について記入してください。
季節的稼働の場合は平成21年度に稼働した期間とし、稼働期間が年度をまたがる場合は平成21年度に稼働を開始した期間について記入してください。
- 仕入金額及び販売金額は、消費税を含んだ金額を記入してください。

I 農産加工場の概要

貴農産加工場について、該当する番号を○で囲み、さらに該当する項目へ記入してください。

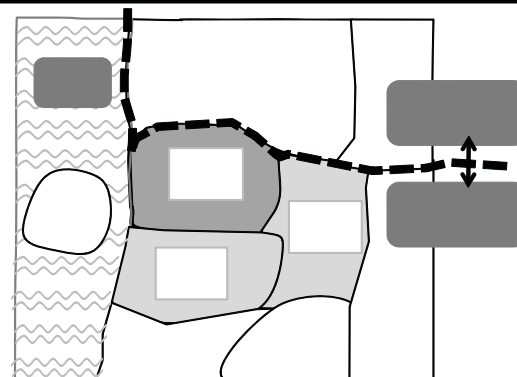
101	運営（経営） 主体機関	農業協同組合	1	102	稼働時期	通 年 稼 働	1
		農事組合法人	2			季 節 的 稼 働	2
		株式会社(有限会社含む。)	3	103	(注1) 開設年次	年	注:1 開設年次は西暦で記入してください。 2 施設面積及び従業者数は、平成22年3月31日現在で記入してください。(季節的稼働で平成22年3月31日に稼働していない場合は、平成21年度の稼働開始時点。)
		その他の法人	4				
		任意組合	5	104	年間稼働日数	日	
		生産者グループ	6				
		法人化していない農家	7	105	(注2) 施設面積	㎡	
		その他	8				
106	(注2) 従業者数	人					

本調査における「農産加工場の同一地域内」及び「地場農産物」とは

「農産加工場の同一地域内」とは、農産加工場が所在する市区町村及びその同一都道府県内の隣接する市区町村（「区」は政令指定都市の「区」とします。）とします。ただし、境界が海上の場合は隣接としません。なお、東京都の「特別区」については、「特別区」全体を一つの単位（同一地域内）とし、隣接する市町村は同一地域内には含めません。また、「市区町村」の範囲は、平成22年3月31日現在とします。

「地場農産物」とは、上記の「農産加工場の同一地域内」で栽培・採取・飼育された農産物とします。また、肉類及びその加工品については、と畜される前に飼育された市区町村を基準とします。

例えば、右記のA市に加工場がある場合、A市、C村及びE町が「農産加工場と同一地域内」となり、同3市町村産の農産物が「地場農産物」となります。



Ⅱ 農産加工場の経営概況

1 仕入状況及び地場農産物の割合

原料（中間加工原料を含む。）の品目分類別年間仕入金額を、該当する欄に**万円単位**で記入し、さらに産地別（①地場農産物、②自都道府県内産農作物（地場農産物を除く。）、③その他（自都道府県外・輸入農産物））の仕入金額の割合について、**産地別割合計が100%となるように**該当する欄に記入してください。

なお、自家栽培した農産物を使用し加工している場合は、それらを金額（加工場の事業決算における自給したものの原材料仕入原価）に換算したうえ、購入したものと合算し記入してください。

品 目 分 類 別		年間仕入金額 (注：消費税を含む。)							産地別仕入金額割合（％）												品目の例	
									計 ④＝①＋②＋③	地場農産物 ①	自都道府県 内産農産物 (地場農産物 を除く。)	その他 (自都道府県 外・輸入農産 物)										
		百億	十億	億	千万	百万	十万	万		百	十	一	百	十	一	百	十	一	百	十	一	
年 間 総 仕 入 金 額	201								万円													
米	202								万円	1	0	0										玄米、精米、米粉
野 菜 類	203								万円	1	0	0										野菜類(いちご、すいか、メロンを除く。)、 カット野菜、冷凍野菜、水煮など。
果 実 類	204								万円	1	0	0										果実類(いちご、すいか、メロンを含む。)、 カット果実、冷凍果実、果汁など。
そ の 他 の 原 料	205								万円	1	0	0										上記以外の原料(麦・雑穀類、豆類、いも類、きのこ・山菜類、食用工業農作物、肉類、鶏卵、牛乳・乳製品など。)

2 販売状況及び出荷地域

(1) 主な製造（加工）品名について、最大3品目まで記入してください（製造品コードについては、農林水産省で記入します。）。

製造（加工）品名		製造品コード		例
211				米粉パン、漬けもの、うめぼし、みそ、ハム、ソーセージ、チーズ、ドレッシング等
212				
213				

- (2) 農産加工場の①「年間販売金額」（加工品全体）を万円単位で記入し、さらに②「販売先別販売金額割合」及び③「出荷地域別販売金額割合」について、それぞれの合計が100%になるように記入してください。

①年間販売金額（加工品全体） （注：消費税を含む。）							
	百億	十億	億	千万	百万	十萬	万
221							

万円

②販売先別販売金額割合					
合計		1	0	0	%
231	小売業者				%
232	外食業者・中食業者				%
233	加工業者				%
234	学校給食、幼稚園、保育園、教育機関等				%
235	ホテル・旅館				%
236	消費者への直接販売				%
237	その他				%

③出荷地域別販売金額割合					
合計		1	0	0	%
241	農産加工場の同一地域内				%
242	自都道府県内				%
243	自都道府県外				%
244	輸出				%

Ⅲ 「地場農産物」の使用

1 地場農産物使用の取組・効果・課題

- (1) 地場農産物の使用に当たって取り組んでいることについて、該当する番号のすべてを○で囲んでください。

地場農産物使用に当たっての取組		
301	地場農産物の安定的な仕入	1
302	地場農産物のみを使用した加工品の製造	2
303	高付加価値品（有機栽培品、特別栽培品）を使用した加工品の製造	3
304	地域特産品の製造	4
305	生産者と消費者の交流活動、体験活動等の実施	5
306	併設レストラン、直売所での使用、販売	6
307	その他	7

- (2) 地場農産物の使用の取組により得られた効果について、該当する番号のすべてを○で囲んでください。

地場農産物使用に当たっての取組効果		
311	消費者への安全・安心な農産加工品の提供	1
312	流通コストの削減	2
313	地場農産物の販路の拡大	3
314	地域農業の活性化	4
315	消費者への地場農産物嗜好の喚起	5
316	生産者と消費者のコミュニケーションの促進	6
317	売上げの増加、収入の拡大	7
318	その他	8

- (3) 現時点において地場農産物を使用するに当たっての課題について、該当する番号のすべてを○で囲んでください。

地場農産物使用に当たっての課題		
321	施設の拡充	1
322	加工経費の削減	2
323	「地場農産物」の確保	3
324	年間を通じた原料の安定的な確保	4
325	他の加工施設との競合	5
326	付加価値の高い地場加工品の商品開発	6
327	新たな販路の開拓	7
328	加工専用品種等の開発	8
329	その他	9

2 地場農産物のこれまで及び今後の取扱い

該当する番号を○で囲んでください。

なお、過去3年以内に開設している農産加工場においては、開設当初と比較してください。

- (1) 3年前と比較して地場農産物の取扱数量はどうになりましたか。(2) 3年後の地場農産物の取扱数量をどのようにしたいとお考えですか。

地場農産物取扱数量の動向		
331	増えた	1
	変わらない	2
	減った	3
	わからない	4

地場農産物取扱数量の今後の意向		
341	増やしたい	1
	現状維持	2
	減らしたい	3
	わからない	4

記入内容について照会する場合がありますので、担当者名等の記入をお願いします。

なお、住所、電話番号の記入の必要はありません。

担当部署

担当者名

調査及び調査票の記入に当たって不明な点等がありましたら、以下までお問い合わせください。

問い合わせ先

名 称

担当者名

電話番号

FAX番号

E-Mail

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。